

派生形

動詞には、語根の3文字からなる基本形(原形、第1形)の他に、派生形があります。第15形までありますが、現代文で使われるのは第10形までです。

<完了形>

انْفَعَلَ VII	تَفَعَّلَ V	فَعَّلَ II
اِفْتَعَلَ VIII	تَفَاعَلَ VI	فَاعَلَ III
اِفْعَلَّ IX		أَفْعَلَ IV
اسْتَفْعَلَ X		

<未完了形>

يَنْفَعِلُ VII	يَتَفَعَّلُ V	يُفَعِّلُ II
يِفْتَعِلُ VIII	يَتَفَاعَلُ VI	يُفَاعِلُ III
يِفْعَلُّ IX		يُأَفْعِلُ IV
يَسْتَفْعِلُ X		

<命令形>

انْفَعِلْ VII	تَفَعَّلْ V	فَعِّلْ II
اِفْتَعِلْ VIII	تَفَاعَلْ VI	فَاعِلْ III
اِفْعَلِّ IX		أَفْعِلْ IV
اسْتَفْعِلْ X		

* 第7形～第10形の完了形と命令形では、語頭の ！ はハムザトルワスルです。

第8形

第8形の目印は、3番目の文字が **ت** であること。しかし、これが変身してしまうことがあります。文字数が多くて派生形らしいけれど何だかわからない、というときは、第8形と考えて下さい。

(1) 第1語根が **و** の動詞: **و** → **ت** に同化

[وجه] اِتَّجَاهُ «方向」。إِلَى «向く、向かう」。اِتَّجَهَ «向く、向かう」。

[وحد] اِتَّحَدَ «一つになる」。اِتِّحَادٌ «統一」「連盟」。

اَلْأُمَمُ الْمُتَّحِدَةُ «国連」。اَلْوِلَايَاتُ الْمُتَّحِدَةُ «合衆国」。

[وصل] اِتَّصَلَ «連絡する」。اِتِّصَالٌ «連絡」。

(2) 第1語根がハムザの動詞(一部): **ء** → **ت** に同化

[أخذ] اِتَّخَذَ «取る、講じる」。

(3) 第1語根が **د**、**ذ**、**ز** の動詞: **ت** → **د**

[دعو] اِدَّعَى «主張する」「 عَلَى を~で告訴する」。مُدَّعٍ «検察官」。

مُدَّعَى عَلَيْهِ «被告人」。

[ذخر] اِدَّخَرَ、اِدَّخَرَ «貯える」。اِدَّخَارٌ、اِدَّخَارٌ «貯蓄、貯蔵」。

[رحم] اِزْدَحَمَ «混雑する、込み合う」。اِزْدِحَامٌ «混雑、渋滞」。

[زهر] اِزْدَهَرَ «花開く」「繁栄する」。

[زيد] اِزْدَادَ «増える、増加する」。اِزْدِيَادٌ «増加」。

(4) 第1語根が **ص**、**ض**、**ط** の動詞: **ت → ط**

[صدم] **إِصْطَدَمَ** 「衝突する」。 **إِصْطِدَامٌ** 「衝突」。

[ضر] **إِضْطَرَّ** 「~に **إِلَى** を強制する」。

[ضرب] **إِضْطَرَبَ** 「混乱する、動揺する」。 **إِضْطِرَابٌ** 「混乱」。

[طلع] **إِطَّلَعَ** 「見る」。

(5) 第1語根が **ظ** の動詞: **ت → ظ**

[ظلم] **إِظْلَمَ** 「抑圧される」。



派生形の意味

各派生形の主な意味を挙げておきますが、必ずそうなるとは限りません。一つ一つ覚えていく必要があります。

<第2形>

1) 強意

私は容器を割った(第1形)。

كَسَرْتُ إِنَاءً.

私は容器を砕いた。

كَسَّرْتُ إِنَاءً.

2) 他動詞化

自動詞の他動詞化(目的語0→1)

ザイドは喜んだ(第1形)。

فَرِحَ زَيْدٌ.

私はザイドを喜ばせた。

فَرَّحْتُ زَيْدًا.

他動詞の二重他動詞化(目的語1→2)

ザイドは授業を理解した(第1形)。

فَهَمَ زَيْدٌ الدَّرْسَ.

私はザイドに授業を理解させた。

فَهَّمْتُ زَيْدًا الدَّرْسَ.

3) 判断

彼は真実を語った(第1形)。

صَدَقَ.

私は彼を信用できると思った。=私は彼を信じた。

صَدَّقْتُهُ.

<第3形>

1) 相互性(主語と目的語が同じ行為に参加)

ザイドはアリーに会った。

قَابَلَ زَيْدٌ عَلِيًّا.

2) 継続

私は歩き続けた。

تَابَعْتُ السَّيْرَ.

<第4形>

1) 他動詞化

自動詞の他動詞化(目的語0→1)

ザイドは喜んだ(第1形)。

فَرِحَ زَيْدٌ.

私はザイドを喜ばせた。

أَفْرَحْتُ زَيْدًا.

他動詞の二重他動詞化(目的語1→2)

ザイドは授業を理解した(第1形)。

فَهَمَ زَيْدٌ الدَّرْسَ.

私はザイドに授業を理解させた。

أَفْهَمْتُ زَيْدًا الدَّرْسَ.

2) 第2形と同じ意味

私はザイドに結果を知らせた(第2形)。 خَبَّرْتُ زَيْدًا بِالنَّيِّجَةِ.

私はザイドに結果を知らせた。 أَخْبَرْتُ زَيْدًا بِالنَّيِّجَةِ.

<第5形>

1) 第2形の再帰

私は彼を教えた(第2形)。そこで彼は学んだ。 عَلَّمْتُهُ فَتَعَلَّمَ.

2) 推量

彼は自分を偉大だと思った。=彼は傲慢であった。 تَكَبَّرَ.

<第6形>

1) 相互性

ザイドはアリーを助けた(第3形)。 عَاوَنَ زَيْدٌ عَلِيًّا.

ザイドとアリーは互いに助け合った。 تَعَاوَنَ زَيْدٌ وَعَلِيٌّ.

ザイドとアリーは会った。 تَقَابَلَ زَيْدٌ وَعَلِيٌّ.

* 第3形の主語と目的語が、第6形では主語になります。

2) 第3形の再帰

私はそれを遠ざけた(第3形)。 بَاعَدْتُهُ فَتَبَاعَدَ.

そこでそれは遠ざかった。

3) ふりをする

彼は眠ったふりをした。 تَنَاوَمَ.

<第7形>

第1形の再帰(自動詞のみ)

私はそれをこわした(第1形)。 كَسَرْتُهُ فَانْكَسَرَ.

そこでそれはこわれた。

<第8形>

1) 再帰

私はそれを集めた(第1形)。
そこでそれは集まった。

جَمَعْتُهُ فَأَجْتَمَعَ.

私はそれを平らにした(第2形)。
そこでそれは平らになった。

سَوَّيْتُهُ فَأَسْتَوَى.

私は彼に聞かせた(第4形)。
そこで彼は聴いた。

أَسْمَعْتُهُ فَأَسْتَمَعَ.

2) 相互性

ザイドとアリーは反目し、互いに
戦った。

اِخْتَلَفَ زَيْدٌ وَعَلِيٌّ وَأَقْتَتَلَا.

<第9形>

自動詞のみ。色や身体障害を示す。

赤くなった。

اِحْمَرَّ.

<第10形>

1) 要求・願望

情報を求めた。= 尋ねた。

اِسْتَعْلَمَ (= طَلَبَ الْعِلْمَ).

許可を求めた。

اِسْتَأْذَنَ (= طَلَبَ الْاِذْنَ).

2) 判断

義務であった(第1形)。

وَجَبَ.

義務だと思った。

اِسْتَوْجَبَ.

3) 第4形の再帰

準備した(第4形)。

اَعَدَّ.

準備ができた。

اِسْتَعَدَّ.